

ものづくり企業とデザイナーを結ぶ「東京ビジネスデザインアワード」を開催 中小企業の持つ技術や素材をテーマに、新規用途開発と事業提案を募る新しいコンペティション

このたび、公益財団法人日本デザイン振興会（東京都港区）が運営を担う、東京都主催の新しいデザインコンペティション「東京ビジネスデザインアワード」がスタートしました。これは、中小企業の新ビジネス創出にはデザイン導入が欠かせないとの観点から、企業とデザイナーとの協働を目的としたマッチング事業です。

「東京ビジネスデザインアワード」では、まず都内の高い技術力を持つものづくり企業から、自社保有の技術や素材をテーマとして公募。その後、テーマに対してデザイナーから新規用途開発と企業の新しい主軸となりうる事業提案を募集します。

商品のかたちやスタイルをテーマにするコンペティションはこれまでも多くの例がありますが、それらに対し、事業全体のデザインをデザイナーから募ることを主旨としている点が「東京ビジネスデザインアワード」の特徴です。また、本事業を通じてマッチングした企業と受賞デザイナーには、受賞後も提案実現に向けた継続的サポートを行います。最優秀賞として選ばれた受賞デザイナーに副賞（賞金）100万円が贈られるほか、テーマ出題企業へも審査委員からのアドバイスをを行い、東京都が実施する中小企業支援施策へと繋げて、提案の実現・製品化を目指します。

第1回「東京ビジネスデザインアワード」

企業からのテーマ募集期間	5月1日～6月29日
デザイナーからの提案募集期間	8月1日～10月19日
応募費用	テーマ応募、提案応募ともに無料 (※制作や応募にかかる実費のみ応募者負担)
賞・賞金	最優秀賞（1点） 副賞：賞金100万円 優秀賞（2点） 副賞：賞金各20万円 テーマ賞 1テーマにつき1点
スケジュール	別紙参照
主催	東京都
運営	公益財団法人日本デザイン振興会



ロゴデザイン：平林奈緒美

東京ビジネスデザインアワード オフィシャルサイト www.tokyo-design.ne.jp

※ 賞のロゴマークなどのビジュアルデータをご用意しています。下記までお問い合わせください。

一般からのお問い合わせ先 東京ビジネスデザインアワード事務局（公益財団法人日本デザイン振興会 内） 担当：鈴木、林
電話：03-6743-3777 tokyo-design@jidp.or.jp
報道関係のお問い合わせ先 株式会社オズマビーアール 担当：木村、近江、鈴木
電話：03-3403-0283 FAX：03-3403-0289

スケジュール

5月1日	テーマ募集開始	企業からのテーマを募集
5月25日	企業向け テーマ応募説明会 (会場:東京都産業労働局秋葉原庁舎 第1会議室)	
6月29日	テーマ募集締切	
7月下旬	テーマ審査	企業からのテーマ内容を書類審査
8月1日	テーマ発表・提案募集開始	ウェブサイト等にて発表
8月下旬	デザイナー向け 提案応募説明会	
10月19日	提案募集締切	
10月下旬	提案一次審査	デザイナーからの提案を企画書で書類審査
11月中旬	提案二次審査	テーマ出題企業も審査に加わり「テーマ賞」を決定
2013年1月下旬	提案最終審査・結果発表・表彰式	デザイナーによる公開プレゼンテーション審査・結果発表、表彰式

審査委員会 (予定)

審査委員長	廣田尚子	プロダクトデザイナー／ヒロタデザインスタジオ 代表
審査委員	江副直樹	事業プロデューサー／ブンボ株式会社 代表取締役
	永井一史	クリエイティブディレクター／株式会社HAKUHODO DESIGN 代表取締役社長
	林 千晶	プロジェクトマネージャー／株式会社ロフトワーク 代表取締役
	日高一樹	デザインと知的財産権に関するコンサルタント／日高国際特許事務所 所長 弁理士
	福田哲夫	インダストリアルデザイナー／産業技術大学院大学 教授
	藤崎圭一郎	デザインジャーナリスト／東京藝術大学 准教授
	村上 存	工学研究者／東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授

審査委員長メッセージ

長期にわたる経済不振、地球環境問題、インターネットの普及などにより、この10年で消費者の価値観や市場のあり方は大きく変化しました。

それに伴って生産・流通・販売の方法に新しい発想が求められる転換期にきていることは誰もが感じていることです。

この流れでは成功者の方法をまねた「右へ倣え」で先人と同じ事をやっても後に続く事ができなくなりました。今は自社の個性・技術を客観的に評価して最もフィットするビジネスの展望を描くことが求められます。

デザインにはそれに応える有効な産業資源としての価値があります。

また、デザインの領域にも転換の時期が来ています。機能や姿かたちだけではなく「技術が生きる場を考える」という視点でビジネスの可能性を提案し、それをプロデュースする意識でデザインを展開してくださることを期待しています。

デザインでローカル都市東京が元気になることがこのコンペティションの願いです。

2012年度 東京ビジネスデザインアワード 審査委員長

廣田尚子

[参考] 公益財団法人日本デザイン振興会 (JDP) とは

日本で唯一の総合的デザインプロモーション機関。「グッドデザイン賞 (Gマーク)」を主催するほか、デザインネットワークの拠点「東京ミッドタウン・デザインハブ」の企画・運営や、デザインによる人材育成、国際交流活動、東日本大震災からの復興支援活動などの事業を通じて、創造的で豊かな社会の実現を目指す活動を展開している。これまでも、東京都のデザイン関連事業の企画・運営を手がけている。

審査委員長



廣田尚子 **プロダクトデザイナー／ヒロタデザインスタジオ 代表**

東京藝術大学デザイン科卒業後、GKプランニングアンドデザインを経てヒロタデザインスタジオ設立。コンセプトワークから始めるプロダクトデザインを中心に、パッケージ等幅広く活動する。女子美術大学芸術学部デザイン・工芸学科 教授。グッドデザイン賞審査委員。

審査委員



江副直樹 **事業プロデューサー／ブンボ株式会社 代表取締役**

1956年、佐賀生まれ。西南学院大学法学部中退後、米穀店店員、工場作業員、釣り雑誌編集者、コピーライター等を経て、商品開発と広報計画を柱とする事業プロデュースの会社、有限会社ブンボ設立。農業、商業、工業、観光、地域活性など、多分野の多様なクライアントに対し、コンセプト重視の事業戦略提案とその実現が主な仕事。ときどき原稿書き。1999年から福岡デザイン専門学校で非常勤講師。2000年から福岡県朝倉郡東峰村在住。「九州ちくご元気計画」で2011年度グッドデザイン賞日本商工会議所会頭賞受賞。



永井一史 **クリエイティブディレクター／株式会社HAKUHODO DESIGN 代表取締役社長**

1961年生まれ、1985年多摩美術大学美術学部デザイン学科卒業後、博報堂入社。2003年、ブランディングを中心とした会社、株式会社HAKUHODO DESIGNを設立。主な受賞に日経広告賞グランプリ、クリエイター・オブ・ザ・イヤー、ADC賞グランプリ、毎日デザイン賞など受賞多数。グッドデザイン賞審査委員。



林千晶 **プロジェクトマネージャー／株式会社ロフトワーク 代表取締役**

ロフトワークの共同創業者、代表取締役。16,000人が登録する日本最大級のクリエイターコミュニティを核として、Web開発、コンテンツ制作、映像、広告プロモーションなど信頼性の高いクリエイティブサービスを提供。またクリエイターとのマスコラボレーションの基盤として、いち早くプロジェクトマネジメント (PMBOK) の知識体系を日本のクリエイティブ業界に導入。米国PMI認定PMP。米国NPOクリエイティブ・コモンズ アジア責任者も務める。



日高一樹 **デザインと知的財産権に関するコンサルタント／日高国際特許事務所 所長 弁理士**

金沢美術工芸大学工業デザイン科卒業後、通商産業省特許庁入庁。特許庁審査官、通産省デザイン行政室課長補佐 (デザイン奨励班長) を経て日高国際特許事務所を設立。商品開発における知的財産権戦略のプロフェッショナルとして活動。「知的財産権と企業経営」「デザインリスクマネジメント」などに関する講演・執筆多数。金沢美術工芸大学、東京藝術大学、九州大学大学院などで講師を務める。グッドデザイン賞審査委員。



福田哲夫 **インダストリアルデザイナー／産業技術大学院大学 教授**

日産自動車等を経て、1985年A&F株式会社設立。各種産業用機器開発から自動車、船舶、航空機などトランスポートーションを中心に活動。1987年、TDOメンバーとして鉄道車両のデザイン開発に参画。主なプロジェクトは、新幹線「のぞみ」「はやて」他。2005年首都大学東京システムデザイン学部 IAコース長、2008年より現職。グッドデザイン賞審査委員。



藤崎圭一郎 **デザインジャーナリスト／東京藝術大学 准教授**

1963年生まれ。1990 92年『デザインの現場』編集長を務める。1993年より独立。雑誌や新聞にデザイン、建築に関する記事を執筆。東京藝術大学美術部デザイン科准教授。ライフワークは「デザインを言葉でいかに表現するか」「メディアプロトタイピング」「創造的覚醒」。著書に、広告デザイン会社DRAFTの活動をまとめた『デザインするな』がある。



村上 存 **工学研究者／東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授**

1984年 東京大学工学部機械工学科卒業、1989年同大学院工学系研究科産業機械工学専攻修了、工学博士。英語においては共に"design"と表記される (工学) 設計と (インダストリアル) デザインを対象とし、designerが獨創性、多様性を発揮した優れたdesignを行ない (design by human)、ユーザのニーズ、感性、多様性に対応した新たな価値を提供する製品を創造する (design for human) ための、design支援の数理的手法、ソフトウェア/ハードウェア技術などの研究、教育を行なっている。グッドデザイン賞審査委員。